

第2回 超音波ガイド下神経ブロック ライブセミナーに参加して

札幌医科大学医学部麻酔科学講座 千田 雄太郎

2015年6月20日、当科で主催された第2回超音波ガイド下神経ブロックライブセミナーに参加させていただきました。本セミナーは日本区域麻酔学会の認定ワークショップとして認定を受けています。総勢22名の麻酔科医が参加し、中には札幌市外からの先生方もいらっしゃいました。

セミナーは講義と実習の二本立てで行われました。午前中の講義では、麻酔科医ならば身につけるべき種々のブロックについて、短い時間ながらもポイントを押さえた講義を聞くことができました。また、痛みに関連する事項として、ペインクリニックの基礎も教えていただきました。

午後の実習では、4名のボランティアのご協力の下、各グループに分かれてハンズオン形式で各種ブロックを学びました。大学では様々な麻酔を経験できるものの、時間や人数の都合上、全員があらゆるブロックを満遍なく経験できるとは限りません。神経ブロックは座学だけで身につくものではありませんので、このような実習の機会は大変貴重なものとなりました。また、経験や施設の異なる先生方とディスカッションしながら進めることで、より知識や経験を深めることができました。

実習の最後にはフリータイムも設けられ、講義では触れられなかった内容についても各自の興味に応じて質問・経験することができました。ブルーファントムや豚肉にエコーを当ててブロック針を穿刺するコーナーもあり、初学者が悩みがちなエコー画面上で針を描出する練習も可能でした。

以上のように、本セミナーではブロックの基本とも呼べる内容を講義および実習の両方で学ぶことができ、私のように知識も経験も不足している初学者にとっては大変有用なものとなりました。

このような経験をさせて頂きましたのは、室内先生をはじめ札幌医科大学麻酔科学講座の先生の方々、および富士フィルムソノサイト・ジャパン、丸石製薬のご協力に他なりません。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

